

2016年1月号 Vol. 46 (2016年1月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2008認証取得
日本医療機能評価 (Ver.6) 認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



写真提供：七岡内科医院 七岡 聖魏 先生

いげのやま

「恵解山古墳：国指定遺跡」を照らす朝日（恵解山古墳公園にて：長岡京市勝竜寺）

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

2016年 新年の挨拶



千春会病院 院長 藤原 仁史

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

私たちは本年も、「医療と介護の融合」を合言葉に医療・介護サービスを丁寧に提供し、この乙訓地域の「かかりつけ病院」として貢献して参りたいと存じます。

さて、将来の日本の高齢化は、医療・介護の業界にとっても非常に大きな問題です。推計では20年先には3人に1人が65歳以上となります。総人口は既に減少に転じている中で、さらに今後20年間は高齢者数が増加し続けるという現実があります。また、高齢者独居世帯や老々介護世帯のこれからの生活を考える時、新しい「住まい方」の提案とその基盤となる医療・介護、予防対策と生活支援が課題となります。

高齢化は、日本の疾病構造を変化させるため、医療・介護サービスの量的・質的変容が求められます。今まで通りでは立ち行かなくなるのは明らかです。私たち千春会グループも、乙訓地域に必要な「地域包括ケアシステム」の実現へと向かって、今後も関係各所と協力、連携しながら取り組んで参ります。

2014年「医療介護総合確保推進法」の国会成立を受け、各都道府県は「地域医療構想」を策定することになりました。この「地域医療構想」は、高齢化率の「高さ」そのものが問題となる2025年に向け、地域の病院の病床機能を分化・連携させて将来の医療需要（病床）の必要量を推計して定めていくものです。

私たちの乙訓地域でも、2014年に始まった「病床機能報告制度」により国へ集約された病院機能データを基に、昨年10月から「地域医療調整会議」が始まりました。乙訓保健所の調整により全7病院が一堂に会し、医師会をはじめ、行政や地域の医療・介護サービスに関わる代表の方々とともに話し合います。

今後の地域の医療提供体制を充実させるために、千春会も積極的な議論への参加を行っております。

許可病床60床の千春会病院は、7:1看護基準の病棟の中に、「地域包括ケア病床」を届出していますが、昨年3月に12床へと増床し、在宅復帰を目指す回復期機能を十分に発揮していきたいと考えております。

さらに、退院後の在宅診療にも力を入れており、多職種による在宅療養生活支援（訪問看護、訪問介護、リハビリ、栄養指導、服薬指導）なども充実させています。

また、がん患者さんへの緩和医療の機能も、これまでと同様に果たしてまいります。JR長岡京駅前のハイパーサーミアクリニックでの「ガン温熱療法」と、千春会病院での難治性腹水の治療である「KM-CART（腹膜濾過濃縮再静注療法）」には、多くのがん患者さんが、時には近畿以外の遠方からも来院されております。

このハイパーサーミアクリニックでは、夜の小児科外来（平日19:30から21:30のみ）を開設して早2年、近隣の小児科終診後の軽症小児救急患者さんを対象としています。昨年4月からは、さらに土曜日午後の時間帯にも診察を始めております。京都市内の基幹病院小児科から医師の人的支援を得ており、いざというときのバックアップも万全です。

介護部門では、昨春以降「保育・高齢複合施設友岡（和楽会）」、「グループホーム併設の介護複合施設今里」、「小規模多機能型居宅介護あさつゆ」がオープン。いずれの施設も地域の社会資源として有効に機能し、質の高いサービスが提供できるよう、さらに努力して参ります。

これからも千春会グループは、菊地孝三理事長を筆頭に10年、20年先の乙訓地域の姿を考え、議論を重ね、協力体制を強化して、医療・介護サービスをしっかり支えてまいります。「申年」にもしっかりと物申して頑張ります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

表彰状と感謝状が贈呈されました

勤続5年 橘 勇佑さん 表彰
(デイサービス友岡)

第22回 障害のある市民の雇用フォーラム「勤続5年表彰並びに感謝状 贈呈式」

主催：総合支援学校生徒の進路開拓をめざす『巣立ちのネットWORK』・京都市・京都市教育委員会

千春会グループでは、障がいを持つ方々が、できる限り長く勤められるよう取り組んでおり、現在13名（うち7名 鳴滝総合支援学校卒業）の方が在職しています。

デイサービス友岡に勤務する橘さん（H.22年卒・4月入職）が今年、勤続5年目となりました。橘さんには『巣立ちのネットWORK』フォーラムで、鈴鹿且久代表（株・聖護院八ッ橋総本店 代表取締役）より、表彰状が手渡され、法人には感謝状が贈呈されました。



表彰される橘 勇佑さん



表彰状を手に橘さん(右端)、和泉主任(左端)、菊地理事長(中央左)、寺山部長(右)と共に

橘さんとデイサービス友岡和泉主任からの法人報告の際、理事長から「今後がんばって下さい」という励ましの言葉を受けた橘さんは、「初任者研修も取得しました。さらに頑張ります」と意気込みを語りました。

千春会では、毎年、京都市立鳴滝総合支援学校から実習生を受け入れており、入職につながるよう1年かけて就業実習を進めています。これからも相互理解を深め、長く継続できる職場づくりに努めてまいります。

会長講話 ②

患者「様」を考える



会長 上池 渉

新しい年を迎えました。皆様にとって良い年でありますようにと願うばかりです。

医療はサービス業かと問われれば、その通りだと思います。ただ日本語でのサービスとは「出血大サービス」とか「サービスでコーヒーがでる」「サービスセール」などで使われる売り手と買い手の関係で下から上に奉仕するものと考えられるかもしれません。サービスにはもう一つ貢献、尽力、役に立つことという意味があり、メディカルサービスとは医療の専門的な知識、技術を使って患者さんの治療に尽力するという事になります。

私は昨年の『せんしゅん 1月号』で良質な医療を安全に提供するにはチーム医療が必要であり、そのためには各職種の相互コミュニケーションが重要であると書きました。よく「患者中心の医療」といわれます。確かに病気なのは患者さんで、その病気を治そうと医療従事者は

働いています。しかし、患者さんや患者さんの家族の方たちの協力なしには「チーム医療」はうまく行きません。私は患者さんやその家族の方たちもチームの一員であり、協働して治療にあたるのが良いと思っています。

さて、当院では以前より「患者様」という呼び方をしていました。チームの一員である患者さんと医療従事者とは対等であるべきです。お医者様と呼ぶのがおかしいように患者様もおかしいですね。

当院ではこれから患者「様」ではなく患者「さん」と呼ばせて頂くこととなりました。しかし、大切なことは言葉だけの問題ではなくて、本質はお互いの敬意と信頼にあるのではないのでしょうか。

本年もよろしくお願いたします。

講演会、研修会の学びを実践に

千春会では、医療、介護の現状を理解し、皆さまにしっかりと還元すべく、医療・介護業界に関わる著名な先生にご講演をいただくなど、全職員が日々の研鑽に励んでいます。貴重な学びの機会を得て、多くの情報や知識をより良質な医療・看護・介護に活かしていきます。

講演会 開催

前厚生労働局老健局長・岡山大学客員教授 宮島 俊彦先生

テーマ：地域医療構想と次期診療報酬改定

宮島先生は、1977年に東京大学をご卒業後、同年、厚生労働省へ入省され、保険局国民健康保険課長、大臣官房参事官、官房人事課長、官房会計課長などを経て、2005年に大臣官房審議官、官房統括審議官を歴任されました。2008年には老健局の局長に就任されるなど2012年に退官されるまで、国の医療・介護施策において重要な役割を担ってこられました。

千春会で開催された講演会では、「地域医療構想と次期診療報酬改定」というテーマで、今後の医療・介護の方向性などをマクロとミクロの視点から、大変わかりやすく、ご講演いただきました。

まず、病院改革の歴史から始まり、これまでの10年間の背景について、医療費や病院データ、病床種類別の統計を通じて、大まかな流れを示していただきました。

さらにこれまでの社会保障の仕組みや、国の財政制度に起因した医療法改革、介護保険や国民健康保険法の改定など、社会情勢を踏まえ、各種改定に至る経緯や状況、今後の方向性など多岐にわたる解説をいただきました。



真剣に学ぶ法人職員

その上で、2025年に向けた「地域医療ビジョン」について言及され、在宅医療や地域包括ケアの実現に



講演中の宮島 俊彦教授

は、医療機関の役割をより明確にするため、さらに病床機能を分化しなければならないこと。また、医療と介護の連携を目的とした施設の整備や医療従事者の確保等が不可欠であること。今後、日本は、より欧米型の医療供給型になるなどの詳細なご説明をいただきました。

また、重症化の予防には徹底した介護予防、虚弱予防の推進が重要である事を各地の実例やデータ分析を基に示されました。

今後、千春会が乙訓地域でどのような役割を担うのか。医療連携によって、どのような在宅医療を展開していくのか。など、様々なデータや事例を基に解説いただき、千春会の方向性と合致した指針を確認することができ有意義な講演会となりました。

高齢者数がピークとなる2025年を迎えるにあたり、地域の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていただけるよう、千春会は医療と介護の融合を目指し、「地域包括ケアシステム」の構築に向け、しっかりと進めてまいります。

研修会

谷中臨床管理栄養師が堂々 発表

発表内容が研修教材となりました！

栄養ケア・マネジメント研修会

主催：一般社団法人 日本健康・栄養システム学会
共催：日本慢性期医療協会

発表テーマ

病院・施設の経口維持・在宅復帰の取り組み事例紹介

栄養ケアでは、口から物を食べるための継続した支援が重要です。

研修会では、谷中主任が医療における管理栄養士の役割や経口維持に役立つ取組みを発表。発表内容がテキストになりました。発表では、入院当初から栄養管理計画を立て、ミールラウンド(食事の状態を観察し食事形態を調整する)などで状況確認を継続。退院後も計画的な在宅訪問でご家族を含めてフォローを行い、介護施設のサービスを選択するなど、多くの関わりが在宅での効果につ

ながった事例を報告しました。

入院から在宅まで、その方の生活状況に合わせた細やかな栄養管理が、在宅生活の向上に結びついたものです。

千春会では、病院、在宅、施設などすべてに管理栄養士が関わることで、在宅生活を継続するための栄養管理を行っています。



発表中の谷中栄養管理士

発表会

看護部研究発表会

看護部では、問題意識を持ち、より良質な看護を提供すべく、毎年、研究テーマを決めて取り組んだ成果を継続して発表しています。今年は、病棟、透析センター、訪問看護、介護老人保健施設春風から4題を発表しました。

理事長、会長、院長はじめ各部署の法人職員が参加し、発表内容をそれぞれの業務に活かしていきます。年々内容も充実し、今年は総評も高い評価となり、成果や成長が見受けられる発表は、京都病院学会などの学会発表へもつなげていきます。

発表者は、評価者からのアドバイスを受けて、さらに向上を目指していきます。

充実した研究発表が、より質の高い看護の提供やスキル向上に役立つ有意義な発表会です。

これからも、患者さまお一人おひとりに向き合いながら、医療、看護、介護が一体となり、貢献できるよう、取り組んでまいります。



看護部の発表

検討会

介護部研究発表検討会

介護部門の各事業所が、それぞれテーマを持った研究内容を発表し、内容の精査を行っています。介護分野でのデータは、今後の機能維持、介護予防などに向けた実践において非常に重要です。

介護部には、リハビリに特化した施設や日々の生活の向上につながる施設、家族の介護をサポートする施設などに加え、ケアマネージャーや相談員、訪問介護、訪問看護など多数の職種や役割があります。それぞれ発表された17演題について、

介護部の各責任者が総評し、発表者は取り組みの向上に努めま

す。研究内容の精査が目的ではなく、職員全員が研究内容を共有することで、より良い介護を目指します。「より良質な介護、より豊かな在宅生活」につなげられるよう、これからも日々、努力してまいります。



多数が学ぶ検討会

千春会グループ 充実のサービスを ご存じですか？

千春会では、様々な方の多様なニーズに、できる限り対応したいと考えています。患者さま、利用者さま、ご家族の方など、お一人おひとりに合わせたサービス提供を目指し、各事業所では、特色あるきめ細やかな運営を行っています。今号では、機能訓練（リハビリ）をしっかりと行い、ご自宅での生活を安全に豊かに暮らしていただくための施設、介護老人保健施設春風併設の「短時間デイケア」・「認知症対応のデイケア」と「通い、宿泊、訪問」が一体化した「小規模多機能型居宅介護あさつゆ」の特色をご紹介します。

ご紹介 1 デイケアセンター あお空・せせらぎ

見学・体験
お気軽に

デイケアセンター あお空

自分の生活スタイルに合わせて、機能訓練を楽しく

楽しく、気軽に
参加できます

短時間
90分

毎週
水曜日

魅力
その1

短時間トレーニング 軽快な音楽で！

毎週水曜日 午前9時25分～10時55分（90分）

送迎あり ご自宅から「デイケアセンターあお空」まで

★全コース「管理栄養士による栄養相談」が受けられます

魅力
その2

理学療法士・介護スタッフがアドバイス

理学療法士が最初しっかりと皆さんの状態を把握しますので、安全で無理なく参加できます！

セラピストと介護スタッフがサポートしますのでさらに安心です。

魅力
その3

選べる5コース

- ① 膝痛コース
- ② 腰痛コースA
- ③ 腰痛コースB
- ④ 生活習慣病予防コース
- ⑤ 脳トレーニング

エアロビクスのような運動やヨガマットを使用した運動など、自分に合ったコースが選べ、スポーツクラブのような感覚で楽しくトレーニングできます。



セラピストと
介護スタッフが
しっかりサポート

認知症対応 デイケアセンター せせらぎ

少人数

少人数・個別対応のリハビリができます

どんな時でもご自分に合ったリハビリを

お一人おひとりに対応したリハビリを行いますので、認知症の方も安心してご参加いただけます。集团のリハビリが難しい方も少人数や個別対応ができますので、ご相談ください。いつも落ち着いて過ごせるリハビリ環境を整えております。

落ち着いた
環境



お問い合わせ
介護老人保健施設 春風内

デイケアセンター あお空（短時間）

デイケアセンター せせらぎ（認知症対応型）

☎075-953-6286

☎075-953-6287

ご紹介 2

「小規模多機能型居宅介護 あさつゆ」とは…

「いつも様々に対応してくれる」
こんな充実の介護サービスをご存知ですか？

スタッフが見守る中、利用者さまがそれぞれ自分の出来ることを担当します。出来る事が増えると皆さん楽しそうです。



活き活きと配膳中の利用者さま

千春会では、利用者さまやご家族の方のニーズに柔軟にお応えできる施設を開設しています。

「あさつゆ」は、いつでも対応できる「3つのサービス（訪問・通い・泊り）」がありますので、困った時に頼りになる安心の施設です。

小規模な施設ならではの柔軟で、きめ細やかな対応が可能です。急な用事でデイ利用から泊りへ移行することも「あさつゆ」ならではの利点です。さまざまなケースにも、ご相談に応じて対応していきますので、困ったときはぜひ一度、お問い合わせください。

いつでも対応できる3つのサービス！

訪問
(訪問介護)

いつでも
「訪問」

定期的な訪問だけでなく、状況に応じてご希望時に訪問することが可能です。

通い
(デイサービス)

アットホームな
「通い」

定員 15 名の小人数だから、利用者さまと職員が親しく近い関係が魅力です。

泊り
(ショートステイ)

急な時にできる
「泊り」

介護者の方の体調不良など、急に利用したい場合にも対応が可能です。



お問い合わせ

小規模多機能型居宅介護 あさつゆ ☎075-959-5560

ご相談・見学・体験
お気軽にどうぞ

子どもたちと高齢者が自然に触れ合える施設

保育・高齢複合施設 友岡 だより
(社会福祉法人 和楽会)

優しい心を育み 穏やかな時を共有

昨年開設した「保育・高齢複合施設 友岡」は、同じ施設内に保育園と特別養護老人ホーム、デイサービスを併せ持つ施設です。小さい子どもたちと高齢者の方々が同じ施設で過ごすことで、自然なふれあいを通じて、共に相手を想う心を大切にします。

合同イベントでは、音楽ボランティアさんの演奏に合わせて、子どもたちも高齢者の方々も一緒に合唱。手をたたいたり、かわいい声で歌ったりと、笑顔いっぱいのイベントになりました。



なごやかな合同お誕生日会



元気に歌って踊る子ども達と利用者さま

また、一緒に「合同お誕生日会」も開催しました。楽しい出し物に「おめでとう」の声と笑顔があふれ、子どもたちと利用者さまとの温かい触れ合いの場となりました。

多世代が同じ施設に集うことで、「心」の通う時間が共有できるよう、これからも様々に取り組んでまいります。

小学生がデイサービス滝ノ町見学に来所 長岡京市立第十小学校2年生

…地元の
みなさんと
ともに



かわいい小学校2年生が、デイサービス滝ノ町の職場を見学しました。「前は通るけれど、何をしているの?」と、子どもたちの素朴な疑問から、小学校の依頼を受けた見学会で、2グループ40名が来訪しました。デイサービスは何をしている所かを知ってもらうために、看護師であり滝ノ町責任者でもある瀧本マネージャーが初めにスライドを使って説明。子ども達からも多数の質問がありました。千春会病院を知っている生徒も多く、



スライドで学ぶ小学生



利用者さまの前で歌を披露

同じ法人であることなども理解してもらうことができました。その後、1階と2階を見学し、子どもたちがお礼の歌を披露。かわいらしい小学生の思わぬ訪問と歌のプレゼントに利用者さまも笑顔いっぱいでした。様々な仕事が高齢者の方々とご家族をサポートしていることを学んでもらえる機会になればと、今後も出来る限りの協力をさせていただきます。

千春会が受賞しました 乙訓防火・危険物安全協会会長賞 受賞 第9回乙訓消火技術競技会

千春会が「乙訓防火・危険物安全協会会長賞」を受賞! メリハリのある動きと確実な消火技術でがんばった結果です。千春会自衛消防隊が果敢に炎に立ち向かい、日頃の防火活動技術の成果を示しました。千春会では、全事業所に規定以上のスプリンクラーを設置しており、さらに必ず年に数回の消防訓練を実施するなど、「絶対に火事を出さない」と、しっかり防火に努めています。



炎に向かう千春会自衛消防隊

これからも受賞に甘んじることなく、日々、防火意識を高めてまいります。

救急救命士研修受け入れ 千春会病院

千春会病院では、毎年乙訓消防本部より、救急救命士の研修を受け入れています。病棟でのさまざまな実技研修をはじめ訪問診療など、病院と在宅との連携した医療や地域における救急の在り方などが学べるカリキュラムです。

医療現場でのトータルな研修を糧にさせていただき、共に地域のみなさんの命をつないでまいります。



病棟での実習

明けましておめでとうございます。今号表紙は、「恵解山(いげのやま)古墳: 国指定史跡」から望む日の出。乙訓地域最大の前方後円墳(約180m)は、約650点もの埴輪が配され古墳公園として5世紀前半の姿に復元されました(H.26.10)。悠久の時を経て、朝日に輝く美しい姿は、古代のロマンを感じさせます。古の人々に愛されたこの地で、皆さまが安心して暮らし続けていただけるよう、千春会も未来に向かい支え続けてまいります。古代より昇り続ける朝日のように変わることなく…。(弘)

表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

編集後記

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615